

## 海外進出ステップアッププログラム「セミナーA実施レポート」

10月15日に第1回目となるセミナー「新時代の海外アニメーション市場を考えよう」をオンラインにて開催いたしました。海外のアニメーション市場や、海外で受容される企画の考え方、実際の展開方法、新型コロナウイルス感染症の影響などについてのパネルディスカッションも交えた講義は、海外展開の初心者にとって大変有意義な内容でした。

### セミナーA「新時代の海外アニメーション市場を考えよう」 講演内容ご紹介

アニメーションジャーナリスト 数土直志氏

「新時代の海外アニメーション市場、2020年にどう変わったのか」

- 海外でのアニメーションビジネスについて、市場におけるニーズや、日本アニメーションの強みと弱みなどの前提を整理した上で、海外でのビジネスの始め方、国際見本市等を活用したアニメーションの売り方、主要な国際見本市の特徴、ネットワーキングのポイント等を解説いただきました。
- また、新型コロナウイルス感染症を契機としたアニメーション業界やアニメーション市場の変化について、最新の映画祭や見本市のオンライン開催の状況等の動向を紹介し、ウィズコロナ時代の非対面のネットワーキングによる新たなアニメーションの海外展開のあり方について示唆をいただきました。



数土氏によるセミナーの様子

アニメーションジャーナリスト 数土直志氏

アニメーター/アニメーション監督/スタジオドリアン代表 押山清高氏

株式会社Flying Ship Studio プロデューサー 小澤江美氏

「MIFA東京都ブース出展者によるパネルディスカッション」



オンラインによるパネルディスカッションの様子

- セミナー後半では、引き続き数土直志氏を司会に、押山清高氏、小澤江美氏をパネリストに招き、国際見本市の出展に関するパネルディスカッションを行いました。
- 押山清高氏からは、MIFAに出展した際のオリジナルアニメーション作品のPVをご披露いただいた上で、海外のアニメーション映画祭の印象や、アニメーションの製作における想い、コロナ禍におけるビジネス環境の変化等について、クリエイター・監督の立場でお話をいただきました。
- 小澤江美氏からは、MIFAに出展した際に実際に用いたピッチ資料をもとに、海外に向けた企画のピッチのポイントの説明や、映画祭の参加準備において重要なこと、ネットワーキングの仕方等、プロデューサーの目線でお話をいただきました。